

Heartful Communication

JAひがしみの

ひがしみの

8

2020 AUGUST
Vol.269



特集

なす生産拡大大作戦



中津川市落合
野尻 孝三さん(90)



できたものの選別は厳格に。
「いい買い物をした」と思ってもらえるように

岐阜県の農業改良普及員を42年間勤めあげた野尻さん。トマトやメロンなど岐阜県内の各産地を創成期から関わり築いてきた一人で、公私を分けずに仕事に情熱を注ぎました。職員時代を「様々な技術が広がっていき、指導甲斐があった」と振り返ります。平成2年に退職する1年前から、直売所への出荷に向けた野菜栽培の準備を始めました。農機の維持に費用が膨らむ稲作はスッパリ「米は買って食べる」と決め、自宅の13aの農地は全て畑に。野尻さんが使うのは、小型の耕運・畝立て機の2台だけです。近くのふれあい牧場から堆肥を買入れ、年間で2トン車に5〜6杯を投入。有機質たっぷりの土で毎年35

とどの農家からも出荷が重なる品目は出来るだけ避け、消費者に喜んでもらえる商品を考え工夫を続けた結果、作り続けている野菜です。

品目前後の野菜を育て、毎日のように中津川グリーンセンターに出荷しています。

他の野菜では、白菜だけでも4品種、玉ねぎは貯蔵に向く品種を選んで、収穫直後よりも12月以降にしっかりと量を出荷。早生や晩生の特性をうまく利用して、消費者に喜ばれる直売活動に活かしてきました。「いいものを出して名前を覚えてもらう。そのために、できたものの選別は厳格に行う。消費者がもうかつたな(いい買い物をした)と思えば、自然に自分に還元されると笑います。」

この季節、野尻さんが作っているのは、小茄子300本やビニールハウスを使って栽培時期をずらせたミニキュウリなど。季節になる



歩くことも、知識・技術も 毎日の積み重ね

昭和5年生まれの野尻さんは毎日、平均1万5〜6千歩は歩き、体重も若い頃と変わっていないといいます。87歳で「今までの積み重ねの力試しに」と日本園芸協会認定の美味安全野菜栽培士の資格を取得。農業関係の雑誌も5冊を定期購読し勉強に余念がありません。グリーンセンターが休みの水曜日には、近所をウォーキングして歩く歩数が減らないようにしています。



JA Higashimino
Fresh News

JAひがしみの
ふれっしゅ
ニュース

2020 AUGUST

新組合長ら担い手訪問 対話大切に自己改革

JAひがしみのの細江成徳組合長ら新たに就任した常勤役員は7月初め、管内の生産者や担い手の50組織を訪問しました。

生産者から、地域農業やJA事業に対する意見や要望を直接聞き取り、JA運営に反映させるためです。



生産者(左)から意見を聞く
細江組合長と常勤役員ら

細江組合長は「新たな役員体制においても引き続き、JAが農業者の育成や経営支援の取り組み、営農指導員の出向く体制をさらに強化していく」と誓いました。



「クリ栽培の集い」を主催した「若手の会」のメンバーたち

栗産地の将来を語る 若手生産者ら「クリ栽培の集い」

東美濃栗振興協議会に所属する若手生産者の有志「若手の会」は6月27日、県恵那総合庁舎で、今後の産地づくりについて議論する「クリ栽培の集い」を開きました。23人が参加しました。

第1部では恵那川上屋の鎌田真悟代表が、地元の栗の魅力と、和菓子店と生産者がともに喜べる仕組みづくりについて講演。第2部では「仲間同士で助け合う仕組みを作ろう」などとして2グループに分かれて若者の立場から議論を行いました。協議会の森見会長は「栗で経営ができる見本を示し、若い生産者が安心して生活できるような産地づくりをしていきたい」と話しました。

産地と市場を結ぶ リモート会議で意見交換

JAひがしみのと東美濃夏秋トマト生産協議会は6月24日、本格的な出荷を前に市場関係者とリモート会議を行いました。例年は生産者が市場まで出向いていましたが、新型コロナウイルス感染防止のため初めてリモートで実施。同協議会の生産者3人と京都市場の卸売会社、京都青果合同の担当者が、スマートワークソリューションの「Teams」を使い、意見交換しました。

市場情勢としては「新型コロナウイルスの影響は大きいですが、6月に入り外食の営業開始後は6割程ほど回復してきた。今後は東美濃産トマトのこだわりの栽培方法と味をアピールし販売を強化したい」と報告がありました。



プロジェクターで相手の顔を見ながら意見交換をする生産者



グランドチャンピオンに輝いた(株)横山畜産(左)とエールを贈った当JA細江成徳組合長(右)

東美濃肉牛共進会 グランドチャンピオンに (株)横山畜産

中津川市畜産振興会は7月7日、関家畜流通センターで「第42回 東美濃肉牛共進会」を開催し、雌8頭去勢21頭が出品されました。

同共進会は、東美濃地域の肉用牛肥育農家の技術の向上や肉用牛の生産拡大を目指しています。グランドチャンピオンに輝いたのは、体積・肉付・品位等が評価された、(株)横山畜産。今回で4連覇の快挙となりました。

地元産農畜産物の消費を応援 ミルクプリンなどプレゼント

JAひがしみののは、新型コロナウイルスの影響により消費が低迷する中、地元産農畜産物などの消費回復と販売拡大を応援しようと「地産地消応援キャンペーン」を行いました。

JAのグリーンセンターとAコープの全店で6月25日からの3日間、店内の農畜産物を購入した人先着3000人に、美濃酪ミルクプリン4個入りをプレゼントしました。

プリンを受け取った女性は、「いつも地元産の新鮮な野菜が並んでいるので来店するのが楽しみ。コロナに負けないで美味しく安全な野菜を作ってほしい」と生産者にエールを送りました。



プレゼントを手渡され喜ぶ来店者(中津川グリーンセンター)

夏秋トマトの出荷規格を確認する生産者ら



後藤芳弘常務よりマスクを受けとる生産者

コロナ対策でマスク贈呈も トマト出荷本番

東美濃夏秋トマト生産協議会が生産する夏秋トマトの出荷が7月上旬から本格的になっていきます。6月下旬に行われた出荷目揃え会ではJAひがしみが中津川市、恵那市と岐阜県の協力を得て、コロナ対策の一環として参加者にマスクを1箱ずつ贈りました。

協議会の126戸では、昨年12月に認証を受けた岐阜県GAPに基づいて農場や出荷コンテナの清潔管理などを徹底し、新型コロナウイルスの影響で出荷が滞らないよう取り組んでいます。

水稲オリジナル品種を育成 農家の挑戦「清水1号」登録

中津川市阿木の清水農産が育成した水稲品種「清水1号」は、コシヒカリよりも稈長が短く耐倒伏性は強、穂数は多、千粒重は重い、米の特性は食味値でコシヒカリと同等、味度値においては高くなっています。炊きあがった米は粒がしっかりとてやや大きく、光沢が良く、販売先の大阪、愛知の米穀商からは「他にない米」「味が良い」として受注量が少しずつ増え、今年は2・6畝で栽培しています。

清水農産の6人のメンバーは、コストダウンが難しい中山間地の稲作を継続していくには、生産コストに見合った価格で取引でき、安定した収量のあつ「地域に適した良食味のオリジナル品種」が必要であると考え、平成19年から育種を始めました。

交配方法など品種改良に必要な知識・技術は、中山間農業研究所中津川支所などの協力を得て習得しました。平成20年に最初の交配(はえぬき×ひとめばれ)を行い、平成21年からは13aのほ場で育種を始めました。選抜を繰り返して、新たな系統ができたところで、(社)ぎふクリーン農業研究セン



7月下旬、一本ずつ手植えした稲の生長を確認する清水農産メンバー。一列ずつ名前を付けて育成しそれぞれ生育特性と米の特性を調べる

ターで食味検査を実施。「生育特性」と「米の特性」を検討し、ともに優れている系統を平成27年11月に農林水産省へ品種登録出願し、平成31年2月に「清水1号」として品種登録されました。今年3月には岐阜県の産地品種銘柄(選択銘柄)にも設定されました。今年5月にも、育種圃場では1万個体が手植えて一本ずつ植え付けられ、秋の選抜を待っています。清水農産では、この中から第2、第3の特徴ある品種の育成を目指しています。

「玉レタスのまきどきと苗づくり」

レタスの仲間には多彩になってきましたが、シャリツとした歯ざわりとみずみずしさを持つ玉レタス（結球レタス）が、やはりなじみ深いもの。自家菜園に取り入れて新鮮な味を楽しみたいものです。

玉レタスの生育適温は17〜18℃で、25℃以上、5℃以下では順調に育ちません。一般的には8月上旬〜中旬（温暖地では9月まきも可能）に種まきし、降霜前の11月に収穫する必要があります。レタスの発芽適温は18〜23℃となり低温好みです。まきどきの温度が高いと発芽しにくいため、種子は半日ほど水に浸して吸水させてから、ふた

つきのポリ容器に湿らせたペーパータオルを敷き、その上に種子を広げます。冷蔵庫に入れ、2〜3日間低温処理をして発芽を促進します。

育苗用の用土を詰めたセルトレイ（128穴）または3号ポリ鉢（径9cm）を用意し、わずかに発芽し始めた種子を4〜5粒まいて、ごく薄く覆土し、芽が伸びてくるまで新聞紙で覆っておきます。本葉1〜2枚のころ間引いて一本立とします。

強い日差しで高温になるときは涼しい木陰か、寒紗張りの日よけの下におき、温度の上昇を防ぎます。朝夕のかん水を入念に。特にセルトレイ



の場合は周辺部が水分不足にならないよう注意しましょう。

128穴のセルトレイでは本葉2〜3枚、3号ポリ鉢では4〜5枚に苗が育ったところ、根が切れないよう丁寧に抜きとって定植します。

グリーンセンターに野菜を出してみませんか

JAひがしみのでは、グリーンセンターの産直会員を募集しています。

自宅の家庭菜園でたくさん採れた野菜を出荷してみませんか？

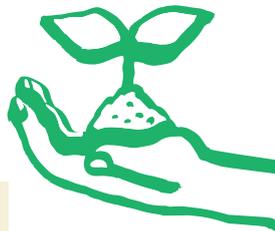
出荷に興味のある方や、産直会員について知りたいという方はお近くのグリーンセンターまでお気軽にご相談ください。

- 中津川グリーンセンター
TEL 0573(62)4147
- えなグリーンセンター
TEL 0573(20)2636
- 恵南グリーンセンター
TEL 0573(56)3430
- 恵那北グリーンセンター
TEL 0573(76)3018



彩・菜・栽

2020年
8月



農作業を終え、
家に帰るまでは気を抜かないで！

岐阜県内でも、 死亡事故が 発生！

令和2年5月25日(月)午後4時頃、揖斐郡揖斐川町地内の町道において、農作業に使用した小型特殊車が横転し、運転者が同車の下敷きになる交通死亡事故が発生しました。

過去5年間にも以下のような事故が発生しています。

H30.8.30 20:05頃 七宗町

小型特殊(コンバイン)×普通乗用車出会い頭
(63歳男性が死亡)

H29.5.2 7:35頃 本巣市

小型特殊(農薬散布車)単独
(68歳男性が死亡)

H28.7.28 7:28頃 大野町

小型特殊(農薬散布車)単独
(70歳男性が死亡)

H28.10.13 11:05頃 養老町

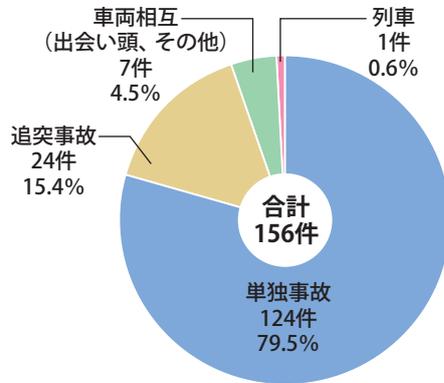
小型特殊(コンバイン)×歩行者
(72歳男性歩行者が死亡)

H27.6.6 19:30頃 御嵩町

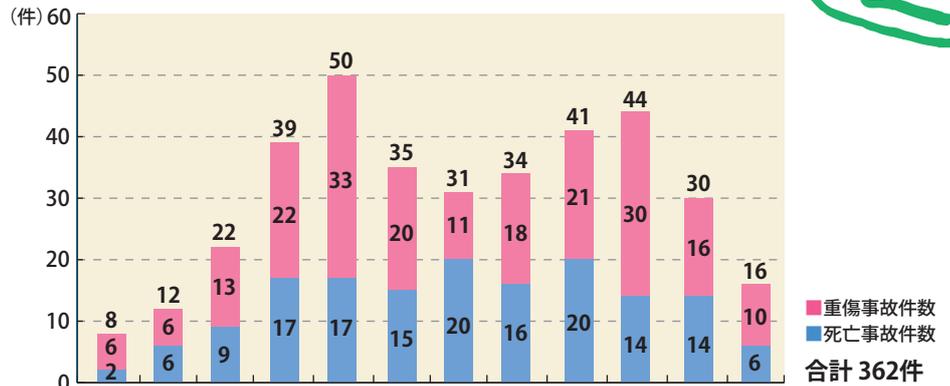
小型特殊(田植え機)×普通乗用車出会い頭
(80歳女性同乗者が死亡)



【全国の農機による事故類型別死亡事故件数】
(平成27年～令和元年合計)



【全国の農耕作業用自動車の死亡・重傷事故】
月別の死亡・重傷事故件数(平成27年～令和元年合計)



事故防止対策

確実な運転操作とブレーキ連結の確認

- 農機による死亡事故は、ハンドルやブレーキ操作ミスによる単独事故が大半を占めています。道路状況等に応じた確実な運転を行いましょ。
- 公道を走る際は、必ずブレーキ連結の確認をしましょ。

安全キャブ・フレームの装着とシートベルトの着用

- 救命効果の高い安全キャブやフレームが付いている農機※を利用しましょ。安全フレームは倒さずに使いましょ。
 - 車体から投げ出されないよう、必ずシートベルトを着用しましょ。
 - ヘルメットの着用にも努めましょ。
- ※車種によっては取り付けられないものもあります。

ランプ類や低速車マーク等の取付け

- 作業が夜間に及ぶこともあります。他車から発見されやすいようにランプ類の増設、反射板を装着しましょ。

農機による交通死亡事故は横転、転落などの単独事故が約8割を占めています。
家に無事に帰るまでは気を抜かないでください！

事故発生の要因

- 1 用水路等への転落**
運転操作ミスや道路環境が悪いこと。
- 2 傾斜地での横転等**
農機は通常の車に比べ重心位置が高いため傾斜地などでバランスを崩しやすい。
- 3 夜間における追突事故**
夜間は後続車から農機が発見されにくい。

岐阜県警

交通安全情報URL

<https://www.pref.gifu.lg.jp/police/kotsuanzen/>





一年中新米の美味しさそのまま! 「今ずり米ひとなる」「今つき米ひとなる」 申し込み受付中!

J Aひがしみのでは管内で収穫した新米で、玄米は「今ずり米ひとなる」、
精米は「今つき米ひとなる」として販売し、8月3日より予約の受付を開始しています。

この機会にぜひご賞味ください。



●「今ずり米」と「今つき米」の特徴

「今ずり米」は収穫後、粃のままカントリーエレベーターで適温保管し、消費者のもとに渡る日にあわせて粃すりするため、地元の美味しいお米を、年間を通じて最高の状態で味わたるのが特徴です。「今つき米」は精米工場から精米後1週間以内に発送するものです。

●管内の米について

同JA管内のお米は、冷たい水と中山間地域特有の昼夜の気温差により、県内外の市場・卸売業者の評価も高く、平成27年〜平成30年産の恵那市産・中津川市産コシヒカリを含む美濃コシヒカリは(二社)日本穀物検定協会の食味ランキングで4年連続の最高評価「特A」を獲得しました。

●申込・受取方法

今ずり米ひとなる

コシヒカリ 30kg玄米 8,900円(税込)
15kg玄米 4,600円(税込)
ひとめぼれ 30kg玄米 8,400円(税込)
15kg玄米 4,350円(税込)

契約単位

玄米 30kg/袋
玄米 15kg/袋
(1袋からお申し込みできます)

支払方法

お申し込み時に一括お支払いです。お渡し確認票をお渡しします。

受取期間

11月〜翌年8月の間のご希望の月

受取方法

宅配又は6ヶ所ある引取場所にてお引き取り下さい。

受取日時

〈宅配の場合〉毎月第3土曜日にお届け予定(宅配に限り、12月は第2土曜日)
〈お引き取りの場合〉毎月第3土曜日の9時〜14時
引取場所(6ヶ所)

- 中津川グリーンセンター
- 中津川カントリーエレベーター
- 恵那北カントリーエレベーター

えなグリーンセンター
恵那カントリーエレベーター
恵南グリーンセンター

※宅配料金は玄米30kgあたり350円(今年度限り)です。東海、北陸、関西、信越地方への送料です。その他の地方は追加料金がかかりますので、お問い合わせ下さい。

今つき米ひとなる

コシヒカリ10kg精米 4,380円(税込)
※東海・北陸・関西・信越地方は配達料込です。

購入単位

精米 10kg/袋
(1袋からお申し込みできます)

支払方法

お申し込み時に一括支払です。

受取期間

11月〜翌年8月の間のご希望の月

受取方法

受取日時

毎月第3土曜日にお届け予定(12月は第2土曜日)

※東海、北陸、関西、信越地方へは送料が含まれています。その他の地方は追加料金がかかりますので、お問い合わせ下さい。

●申込締切日 9月18日(金)

●申込・問合先

J Aひがしみの各支店